



## I. 事業活動の総括 (00.4~01.3)

### 21世紀への踊り場の日本経済

日本経済は希望の新世紀を目前にし、先の見えない混沌とした経済の流れの中で、金融界における不良債権の処理に一年取り組みつつも解決の糸口すら見出せず期末を迎えました。

年初において、本年は次なる21世紀への発展のための地固めをする「踊り場」の年と位置付け解決すべき課題として、第1に世界的に大競争時代を迎え産業界の再編、第2に国際化への対応、第3に不況対策から構造改革への転換を上げたが、第1の産業界の再編の波は金融界の統合に止まらず、化学産業界、製紙業界、鉄鋼産業界にまで波及しました。第2の国際化への対応は更に深化され、いまやモノづくり産業は大企業から中小企業まで工場の現地化が怒涛のごとく進み、ボーダーレス時代を迎えています。

そして、第3の課題は不況からの脱出が果たせずその解決を21世紀に持ち越しました。

ただ、アメリカ経済が90年代IT革命で蘇ったようにわが国も急速に取り組みをはじめ、本格化の兆しが見えてきた年といえましょう。

総じて、平成12年度のわが国経済は、心理的圧迫に負け、個人消費の動員を果たせず、経済の踊り場で次なる前進の機会を窺っていた時期であったといえましょう。

こうした状況の中で、当連盟は会員企業をはじめ広く産業界の構造改革、新体制づくり、合理化、効率化に関するコンサルティング、人づくりのための研修事業など諸活動の取り組みによる支援活動の活発な展開により、年初事業計画通りの成果を上げることが出来ました。

本年度の主な実施事業は以下の通りです。

## 1. 国内コンサルティング活動事業

### (1) コンサルティングテーマの傾向

第1に、グローバル化に対応した世界標準化、IT（情報技術）革新技術への対応したビジネス・モデルの構築など新しいテーマとの取り組みによるコンサルテーションの実施。

第2に、徹底したコスト・リダクション、品質保証体制の確立、在庫削減と生産期間の短縮、TPS導入による製造現場の合理化の徹底。

第3に、新時代に対応した新人事制度の改革、幹部社員の育成、業績評価制度、営業部門の革新、eビジネス転換など構造改革の推進。

### (2) 実施プロジェクト件数

	本部	東京	長野	総計
一般会員企業並びに非会員企業	320	105	23	448
専門機関、公共機関からの要請 (診断・コンサルテーション・調査)				57

## 2. 研究開発活動事業

### (1) 職員の研究論文発表と受賞

①第52回記念全国能率大会（第I部）平成12年7月5日 東京都で開かれ、当連盟職員の研究発表論文が次のように受賞しました。（主催：(株)全日本能率連盟）

#### ◇通商産業大臣賞（第51回大会発表論文）

「QAネットによるQLアップ」（「生産部会」） 研究員 富澤 祐子

#### ◇全能連賞（第51回大会発表論文）

「ワークフローを利用したISO品質マネジメントシステム(QMS)の効果性・効率性向上」（「管理部会」） コンサルタント 松田 英一

◇入選（第52回大会発表論文）

小林 啓子（研究員）、稲垣 信行（コンサルタント）

柘植 吉則（コンサルタント）、杉藤 里美（プロジェクトマネージャー）

②2000年度経営診断学会 平成12年10月

「バリューチェーンの構築」 山崎 康夫（コンサルタント）

③平成12年度(株)全日本能率連盟顕彰受彰

顕彰牌 吉原 靖彦（主席コンサルタント）

顕彰牌 正木 英昭（主任コンサルタント）

(2) 当連盟所属コンサルタントが研究開発した「マネジメントノウハウ」  
の紹介

①第13回 中産連マネジメント大会・名古屋会場

平成12年12月6日(木) 於：ヒルトンホテル

参加者：469名（第1部会219名、第2部会250名）

②第7回 中産連マネジメント大会・東京会場

平成12年10月23日(月) 於：アルカディア市ヶ谷

参加者：253名（ISO部会169名、VM部会84名）

(3) 開発プロジェクト

「日本経営管理標準」(JMS: Japan Management Standard)

分科会活動（経営・生産・技術・販売）のワーキング・グループによる「チェック・リスト」「管理標準」「解説書」作成作業実施

・ワーキング・グループによる活動（平成12年4月～12月）

・全体調整会議：平成12年8月24日～25日（2日間）

於：サンプラザ藤が丘

・第2回審議委員会：平成12年10月18日

於：ホテルキャッスルプラザ

- ・共同研究会オリエンテーション：平成13年1月19日

於：中産連 会議室

- ・トヨタ自動車(株)メンバー参加によるブラッシュ・アップ

(平成13年1月～3月)

### 3. 国際化活動事業

- (1) 連盟が受託・実施した国際協力研修コース

国際協力事業団（JICA）、(株)海外技術者研修協会（AOTS）  
から集団研修コース 4プロジェクトを受託実施

参加国：メキシコ、南アフリカ、ルーマニア 参加者：48名

- (2) 国内で実施する国際協力研修コースに対する専門家派遣25プロジェクト延べ講義人・日数 57.5人・日

- (3) 海外への専門家（コンサルタント）派遣 4カ国 4プロジェクト

- (4) 国際コンサルテーション 3社

- (5) 海外企業からの依頼による国内研修受入れ 1件

- (6) 海外視察・調査団派遣 アメリカ・EU・中国・アジアなど 9チームおよび他機関が派遣した視察の調査団への参加2チーム

### 4. 東京本部活動事業

- (1) コンサルテーション・企業内研修（含ISO関係）105プロジェクト

- (2) MSC（経営戦略同好会）

毎月開催12回 参加企業25社 異業種交流と経営研修活動

- (3) 公開セミナー・研究会・研修会活動 47コース

- (4) 平成12年度中産連VM賞（目で見える経営）授与

(株)八幡ねじ 平成12年7月25日 於：中産連本部会議室

(5) 業務協力機関 15機関

## 5. 長野・信越地区事業活動

(1) 第1期ジュニア・エグゼクティブ塾スタート

期間：平成12年7月～平成14年6月

参加者：長野県内中小企業2世経営者 20名

塾長：古畑 友三氏（前京三電機㈱社長）

(2) コンサルテーション・企業内研修 23プロジェクト

(3) 研究会・共同事業

生産革新研究会（長野工業会）ほか 7研究会

(4) 公開セミナー 6テーマ 18コース 参加人員総計371名

## 6. ISO9000/14000・QS9000関係活動事業

(1) ISO9000/QS9000

体制：主任審査員、審査員、審査員補（JRCA、IRCA、CEAR認定）  
70名

①コンサルテーション、企業内研修 180件

②研究会

ISO9000研究会 参加：24社、電子化研究会 参加：12社

③公開研修

規格の解釈、2000年規格改定、審査員養成セミナーなど名古屋、浜松、静岡、大阪、富山、金沢、福井、高松、岡山、福岡、札幌で開催  
156回、参加者：2,034名

(2) ISO14000（環境マネジメント）

①コンサルテーション、企業内研修 100件

## ②研究会

ISO14000研究会 参加：17社

## ③公開研修

規格の解釈と認証取得のポイント、審査員養成セミナー（JAB認定）など

名古屋、静岡、大阪、金沢、岡山、福岡ほかで開催

79回、参加者：1,115名

## (3) 第3回欧州環境視察団派遣

平成12年9月17日～24日 参加者：20名

## (4) OHSAS18001（労働安全衛生マネジメントシステム）

コンサルテーション実施 4件

## (5) HACCP（食品安全衛生システム） 2件

## (6) BS7799（情報セキュリティシステム） 1件

## (7) ITSSP事業（戦略的情報化投資活性化促進事業）のブロック機関として支援活動の実施

助成金対象事業（経済産業省）

## 7. マネジメント営業推進事業

(1) コンサルテーション 受注件数 70件

(2) 企業内研修 受注件数 20件

(3) 紹介セミナー 6プロジェクト 53社 参加人員78名

## 8. マネジメント開発活動事業

(1) 「経営者後継養成アカデミー」全1年間220日 研修生6名

(2) 「サイバー・セキュリティマネジメント実践研究会」

平成12年9月 全6回開催

- (3) 第3期「New IE実践研究会」(N研)  
中部・関西地区 9社参加 関東地区 4社参加
- (4) 第4期「グローバル人材養成短期米国留学コース」  
米国ノートルダム大学と共同企画 参加9社 11名
- (5) 「EXPO2000・パリ国際モーターショー視察とIT通信関連事情  
を探る」 海外視察団派遣 参加5社 9名
- (6) 受託事業  
「環境パートナーシップ」CLUB(略称EPOC)  
平成12年2月17日設立 参加279社  
平成12年度「自転車機械工業振興事業」補助金530万円で受託

## 9. 新規事業開発支援活動事業

(受託事業)

- (1) シニア・ベンチャー・アドバイザー制度(略称SVAP)  
登録アドバイザー 91名 受託12件
- (2) 地域活性化アドバイザー等支援事業
- ・アドバイス企業 12件 延べ67回
  - ・経営を変えるIT実践事例研究会 全7回  
コーディネータ 名古屋大学大学院経済研究科  
教授 高桑宗右エ門氏 参加:39名
- (3) 中小企業総合事業団(創業支援助成事業)  
ベンチャー・スクール開講
- 三重県 14日間 参加:50名
  - 石川県 4日間 参加:33名



- (4) 2001年トップ・マネジメント・フォーラム（㈱三菱総合研究所共同企画）

テーマ：新世紀の経営探求

平成13年3月1日 於：アイリス愛知 参加：22名

#### 10. 「トヨタ生産方式研究会」活動事業

##### ①特別講演：「トヨタ生産方式の本質と進化」

トヨタ自動車㈱ 生産調査部長・理事 林 南八氏

春 季	PART I（改善の進め方）	平成12年5月16日～18日	参加303名
	PART II（作業改善実習）	平成12年6月18日～23日	参加 65名
秋 季	PART I（改善の進め方）	平成12年9月5日～7日	参加275名
	PART II（作業改善実習）	平成12年10月15日～20日	参加 55名

#### 11. 会員事業推進活動事業

（マネジメント交流センター）

##### (1) 公開セミナー事業

階層別、生産部門、営業部門、経理部門、人事部、IT

110コース、1,198社、1,807名

##### (2) ヒューマンネット・ワーク事業（略称：Y. E. F）

14社、15名

##### (3) 紹介セミナー 4コース、38社、44名

##### (4) その他（ビジネスモデル、特許ほか） 2コース、49社、76名

##### (5) 松下経営革新事業

##### ①松下経営革新セミナーシリーズ

13コース、144社、176名

②松下経営革新フォーラム「松下のIT革新のモノづくり」

5コース、173社、227名

(6) 企業内研修、コンサルテーション

76社、95プロジェクト

(マネジメント啓発センター)

(1) 第16回中産連「創造の船」おりえんと・びーなす号 (23,000トン)

平成12年10月28日～11月4日 (8日間) (基本コース)

訪問都市：上海、蘇州、北京

平成12年10月28日～11月3日 (7日間) (アジア体験コース)

訪問都市：上海、シンガポール

2コース合計参加：148社 250名

(2) 海外研修

S A E 2001自動車技術展視察と米国・メキシコ視察団

平成13年3月4日～14日 (11日間)

訪問都市：デトロイト、シンシナティ、モントレー、サンフランシスコ

参加：14社 14名

(3) 産業技術研究会

平成12年9月25日～平成13年2月22日 (全6回)

コーディネータ 石原 荘一教授 (名城大学)

参加：44社 47名

(マネジメント事業プロジェクト)

(1) 公開コース 32コース 1,304名

VE入門講座、工程改善コース、VEに世界的発明原理TRIZを

取り入れたコストダウンへの活用法ほか

(会員サービスセンター)

(1) 「月刊プロGRESS」マネジメント専門誌の発刊 毎月2,600部

(2) 会員懇話会 毎月1回 無料公開、参加毎回200名

(3) 会員特別見学会

新技術「高性能工業炉／リジェネバーナー」工場見学

(4) ホーム・ページ提供

連盟紹介、会員企業へのリンクサービス、電子メールによるセミナー  
受付

(5) 中産連人材育成フォーラム

講演「21世紀経営幹部とリーダーシップ育成法」

神戸大学教授 金井 寿宏氏ほか 参加：200名

(6) 外郭団体

①日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部 毎月1回例会 参加20名

②日本広報学会 中部部会 随時開催 参加20名～30名

## 12. 理事会・総会

(1) 第231回理事会 平成12年5月25日開催（理事45名、監事1名出席）

(2) 平成12年度通常総会 平成12年6月19日開催（651会員出席）

(3) 臨時理事会 平成12年6月19日開催（理事49名、監事1名出席）

(4) 第232回理事会 平成12年11月17日開催（理事49名、監事1名出席）

(5) 第233回理事会 平成13年3月15日開催（理事49名、監事1名出席）

会勢 939社

以上、諸活動の結果として収支実績は、当期収入合計予算21億4,400万円  
に対して24億5,092万円(対予算比114.3%)でありました。